



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外40号です。表面は地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れた事例の紹介、裏面は老健やましろからのお知らせです。



(地域医療連携室 室長 南出 弦)

地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れた事例の紹介（第46回）

～ ご夫婦の思いを叶えるために。老健やましろと協力し、ご夫婦の支援をしました。～

ご夫婦お二人を自宅退院に向けて支援した事例です。ご夫婦は今まで介護サービスを利用されず、互いに助け合って生活されていました。ご主人が腫瘍の精密検査・治療のため、他病院への入院が決まり、奥様はお一人で生活することが難しいため、ご主人の他病院での入院期間に合わせ、奥様を地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れしました（入院中、ご夫婦共に介護保険を申請され、共に要介護1の認定結果が出ました）。

他病院で治療中のご主人の入院が当初の予定より長引くことになり、奥様は、より良い療養環境で過ごして頂くため、地域包括ケア病棟“彩り”から老健やましろへ入所して頂き、ご主人は、他病院での治療が一通り終了後、自宅退院の準備が必要であったため、当院地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れしました。ご主人は“彩り”入院後、自宅退院に向け、訪問診療医、訪問看護、ケアマネジャーの調整を行い、後日、自宅退院となりました。ご夫婦は、「また一緒に暮らしたい」と度々おっしゃられていたため、その思いを叶えるため、老健やましろの松村ケアマネジャーと協力し、老健やましろ入所中の奥様の退所支援を行いました。退所前に実施した自宅訪問に同行したのですが、老健やましろの松村ケアマネジャーとリハビリスタッフ、在宅のケアマネジャーが、自宅内の環境の確認（動線や居室で危険なところはないか）と必要な介護サービスなどについての話し合いが行われました。そして、後日、奥様は老健やましろを退所され、ご夫婦の「また一緒に暮らしたい」という思いを叶えることができました。

ご夫婦に、当院入院～自宅退院まで、一貫して関わらせて頂いたことで、より深い関係が築けたこと、自宅生活ではどのようなことが課題かということ想定しながら支援が出来たこと、そして、老健やましろスタッフとの連携・お互いの職種の理解がより深まったように感じました。

ご夫婦は本当に仲が良く、お二人でいるときは穏やかにたまにお茶目なところも見え隠れして、関わらせて頂きながら、私自身も非常に心を打たれました。お会いする機会は中々ありませんが、お二人共、少しでも長く、穏やかにご自宅で過ごせるようにと願っています。

(地域医療連携室 ソーシャルワーカー 中野 明子)

インフルエンザが流行しています。不要不急のご面会はお控え下さい。ご面会の際は、マスクの着用をお願いします。

老健やましろより

～ 広い視野で物事を考える大切さ ～



老健の施設内、施設から歩道にかけて、点字ブロックが敷かれています。点字ブロックは、ご存知のとおり、視覚障がい者が移動の際に正確な歩行位置と歩行方向を案内するための非常に大切な設備です。ところが、老健の内部ではどちらかというところ“邪魔なもの”として認識されることが多いことも確かです。車椅子やストレッチャーを押す時、点字ブロックひっかかり、ガタガタと振動が伝わり、スムーズに押すことができません。独歩で歩行されておられる利用者様の場合は、躓かれはしないかと心配になることもあります。

ある時、施設のスタッフの間で「施設内の点字ブロックは必要ないのでは…」との話になったことがあり、その時に、あるリハビリセラピストから「一般的にどこにでもあるものであるし、それがあつ環境でのリハビリも大切です。」との意見で、なるほどと思いました。

同じ物事でも、見方が少し変わるといろいろな捉え方、感じ方があります。先日、『苦情解決セミナー』に参加させていただいた時にも、「この業界で働いていて私たちが当たり前と思っていることでも、利用者様、家族様から見ると当たり前ではないことが数多くある。感覚麻痺を起こさないようにしましょう。」との話がありました。医療や福祉は人を相手にする仕事です。これからもいろいろな人の立場にたつて広い視野で物事を考えられる支援相談員でありたいと思います。

(老健やましろ 管理部長 三村 裕子)

老健やましろ ふれあい広場のお知らせ

以下の内容で、ふれあい広場が開催します。是非ご参加ください。

内容：食事が食べづらくなつてきたら ～嚥下機能と食形態～

食べることは人生の喜びの一つ、元気の源です。飲み込みの仕組みや食事を食べやすく、飲み込みやすくするポイントを食事紹介やとろみ付け体験をしながら分かりやすく講習します。

(※嚥下食の試食もしていただけます。)

日 時：令和2年2月6日(木) 14時～15時(13時30分開場)

会 場：老健やましろ 1階

対 象 者：高齢者を介護されている方、老健に興味のある方、地域の介護従事者等

定 員 数：10名程度

参 加 費：無料

申込方法：裏面に参加希望者の氏名、連絡先等をご記入の上、老健やましろまでFAXまたは直接お申し込みください。

申込〆切：令和2年2月4日(火)

老健やましろ(担当：古川・三村)

電話：0774-73-0359 FAX：0774-71-8600